



News Release

2006年1月18日

ラオックス株式会社(東証第2部:コード8202)

東京都千代田区神田須田町2-19-4(〒101-8556)

ラオックス、大阪・日本橋に進出

「チャイナモール上海新天地」4階に免税店開店

ラオックス株式会社(以下、ラオックス、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:本多利範)は、1月28日、大阪・日本橋に主として中国人旅行者を対象にした家電関連免税専門店「ラオックス・デューティフリー大阪」を開店いたします。

ラオックスは、2002年3月期以来4期連続して当期純損失を計上して来ましたが、2005年5月1日に本多利範が代表取締役社長に就任以来、経営黒字化への早急な転換を目指して、時代の変化に即応できる社内体制を確立すべく、組織のフラット化、不稼働商品の一掃、重点商品の絞り込みによる粗利率の向上、本拠地・秋葉原を中心とした既存店のリニューアルや新規業態店の立ち上げ、オリジナル商品の開発、新ECサイトの立ち上げ、新物流体制の導入などさまざまな業務改革を実施、2005年度9月中間期には、経常利益の黒字化転換(単体ベース)を実現いたしました。

今後は、守りの経営から、攻めの経営へと軸足を変え、新規出店攻勢による売上拡大を志向して参ります。大阪への免税店出店は、その第1号店としての位置付けになります。

ラオックスは、電気製品のメッカと呼ばれる秋葉原において12店の専門店を展開しており、そこで培った販売ノウハウを郊外店に順次移植する方法を採っています。とりわけ、家電免税品に関しては全国トップクラスの実績を誇っており、「デューティフリー秋葉原」や「本店」免税売場をはじめとして、海外においての知名度も高く、また、すでに免税専門支店として「ラオックス・デューティフリー横浜」がありますが、東日本地区において店舗展開をしていたラオックスにとって、大阪への出店は初めての試みになります。

ラオックスがこの度、出店する「チャイナモール上海新天地」は、中文導報新聞の発行、中文書店経営などで有名な中文産業株式会社(本社:東京都品川区、代表者:羅怡文)が運営。中国資本による流通業が本格的に日本の市場に進出した初のケースとして注目を浴びています。ラオックスにとって、免税品売上のトップは中国からの旅行者であり、この度の出店により、大阪における中国人旅行者への知名度向上、売上向上を目指します。

「ラオックス・デューティフリー大阪」の店舗概要

- ・ 開 店 = 2006年1月28日(土)午前10時
- ・ 住 所 = 大阪市中央区日本橋 2-7-5 ワールドインテリアビル
「チャイナモール上海新天地」4F
- ・ アクセス = 地下鉄：日本橋駅または、南海なんば駅から徒歩5分
- ・ 電 話 = 06-6630-4334 ・ FAX=06-6630-4044
- ・ 売場面積 = 約 210 m²
- ・ 営業時間 = 午前10時～午後9時
- ・ スタッフ = 唐沢 徹ストアマネージャー含め正社員3名。パートアルバイト若干名
- ・ 定 休 日 = 無し。年中無休。
- ・ 業 態 = 家電製品中心の免税店
- ・ 取扱商品 = デジタルカメラ、ムービー、デジタル携帯オーディオ、時計、テレビ、DVD、ゲーム関連、血圧計、理美容・化粧品・エステ商品、キッチン用品など。

参考「チャイナモール上海新天地」のフロア構成

- 1F = 中国茶専門ショップ、華流ファッション・化粧品など
- 2F = 書籍、CDショップ、新天地トラベル、総合サービス
- 3F = 中華食材スーパー、
- 4F = 飲茶、「ラオックス・デューティフリー大阪」
- 5F = チャイナレストラン、リラクゼーションサロン、美容室
- 6F = カラオケ、バーラウンジ
- 7F = イベントホール

本件に関するお問い合わせ先：

ラオックス株式会社

執行役員 広報 IR 室長 山下 巖

電話 = 03-5297-3841

E-mail=yamasita@laox.co.jp

以上

